



その想い



第6号

発行人：谷泰智
28年12月5日発行

★大瀧山でいろいろやってます！

去年の秋は大瀧山頂上でヨーガを行いましたが、今年は植物の観察を主として山内を散策してきました。

夏からぼちぼちと独りシダ刈りを進め、難所にはロープを張り何とか10月30日を向かえることができました。

この日は、檀家様の川瀬卿宥さんを植物ガイドとしてお招きしました。川瀬さんは、道々で参加者それぞれの目に留まった植物について丁寧に解説してくださいり、また、普段私が気にも留めていなかった植物についての意外な知識も与えて下さいました。

総勢10名という少ない人数でしたが、川瀬さんのお話を聞きながら歩くのには丁度いい具合で、天候も正に秋晴れ、山頂からは遙か石鎚山や瓶ヶ森が綺麗に見えました。



散策をして各自が気に入った場所でお弁当を食べた後は、天台宗に受継がれる『止觀』という瞑想を体験してもらいました。

座禅とは少し趣が異なる止觀ですが、皆さん熱心に私の拙い説明に耳を傾けてくださいました。約10分間の短い瞑想でしたが、この日の山での色・声・香・味・触・法を通して、己と自然との調和に精神を落ち着けていくことができました。来年春にも開催しますので、どうかお知らせをお見逃しなく！

★高知県仏教会の研修旅行に参加してきました

日本には、大きく分けても13宗と言われるほど多くの仏教宗派があります。普段はその枠内にとどまり各自の宗旨に則って活動をしていますが、時にその枠を大きく飛び越え、共にお釈迦様を思慕する『同じ仏教徒』という和を以って、お互いに研鑽しあう組織が高知県仏教界です。

11月9～10日にかけて、現在高知県の会長様が執事を務められている奈良の長谷寺を中心に、京都の西本願寺、永観堂、詩仙堂、聖護院とまさに宗派の垣根を超えて拝観をさせていただきました。



普段はなかなか他宗のお寺にお邪魔する機会がないのですが、この日は堂々と自分の宗派の袈裟をつけてお参りさせていただきました。

旅すがらお話を伺うと、宗の違いよりも、同じ宗内での派の違いのほうが、かえってその違いを強調してしまう傾向があるようです。

しかし先に述べた通り、御釈迦様への崇敬という大前提をもとに本来仏教徒は和合すべきであり、法華経にもそう説かれています。

ましてや、この先は僧侶同士が相照らしあい、各宗派の更なる可能性を模索すべき時代であると思います。今回、大先輩方の和に添えていただきましたことを、甚だ感謝致す次第です。

